

トラック輸送情報（平成21年8月分）

平成21年11月26日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：桑原、久島 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

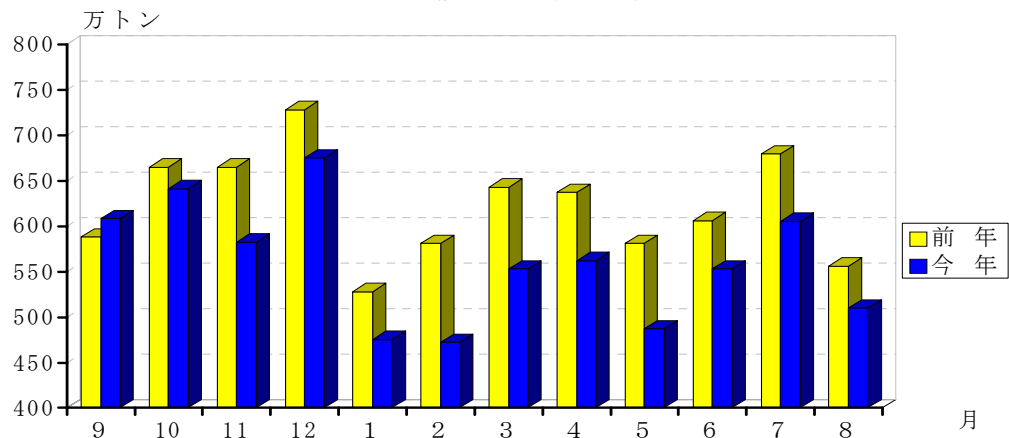
調査対象27社の本月の輸送量は、5,104,261トンで、前月と比べ総輸送量が約94万トン減少したため、前月比84.4%（季節調整済み98.0%）となり、前年同月との比較では、約46万トン減少したため、前年同月比91.8%の実績であった。

なお、平均稼働日数は23.4日で、前月と比べ2.0日減少し、前年同月と比べ0.7日の増加であった。稼働1日当たりの輸送量は、218,131トンで、前月と比べ約2万トン減少したため、前月比91.6%となり、前年同月との比較では、約2万7千トン減少したため、前年同月比89.0%の実績であった。

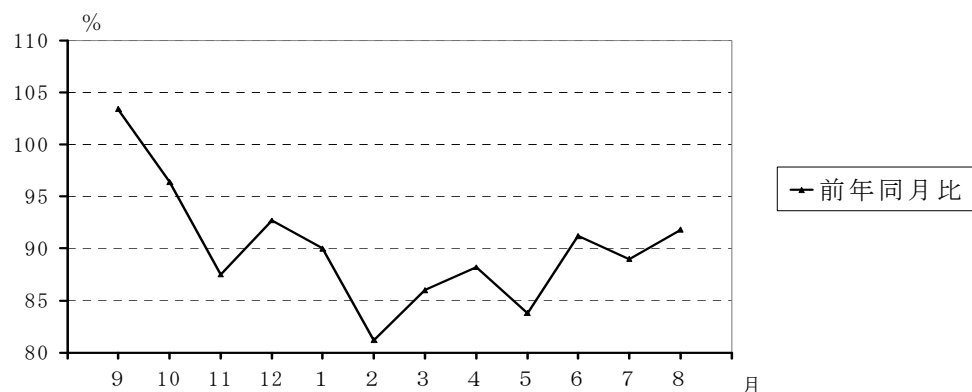
(図1-1、図1-2参照)

注) 平成21年4月から貨物輸送の調査対象については、1社増え、27社となった。

(図1-1) 輸送トン数の推移



(図1-2) 輸送トン数の前年同月比



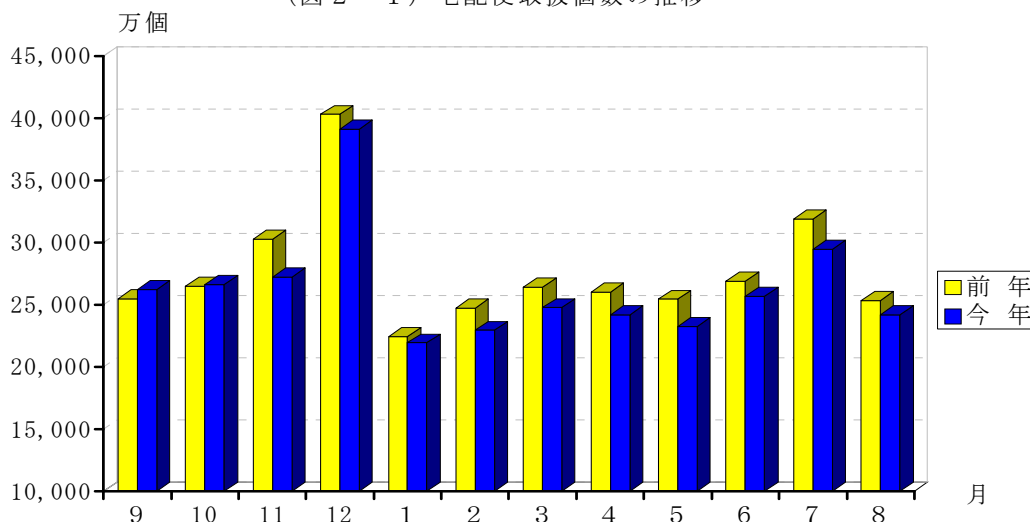
(2) 宅配便の概況

調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、241,817 千個で、前月と比べ 約 5,256 万個減少したため、前月比 82.1% (季節調整済み 101.8%) となり、前年同月との比較では、約 1,158 万個減少したため、前年同月比 95.4%の実績であった。

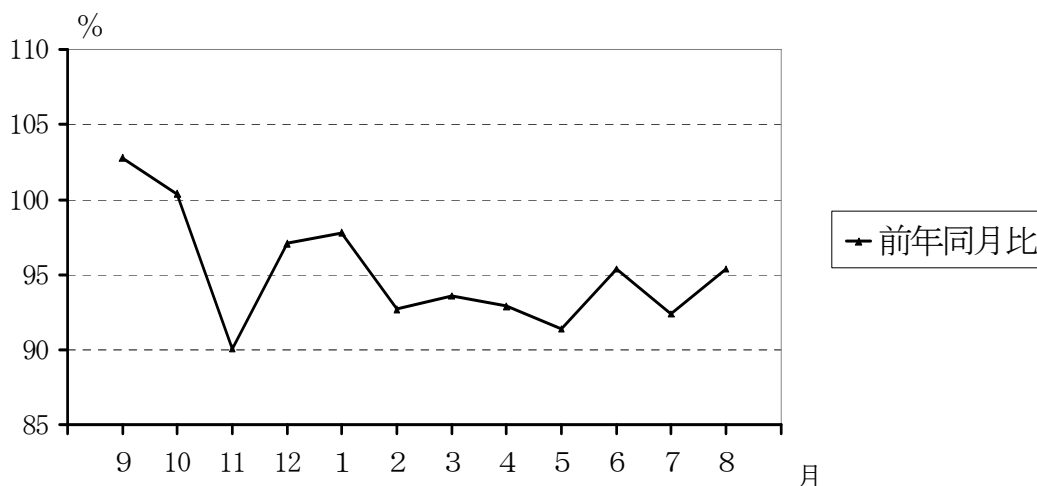
(図 2-1、図 2-2 参照)

注) 平成 21 年 4 月から宅配便輸送の調査対象については、1 社減り、19 社となった。

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、中元期が終了したことやお盆休み等に伴う平均稼働日数の減少等により、すべての品目で輸送量が減少した。減少要因としては、工場・生産地からの貨物減がすべての品目に共通してみられたほか、「金属製品」、「化学工業品」、「食料工業品」、「日用品」、「その他 (宅配便・百貨店配送品)」では、季節的需要減も要因となっている。地域的には、「食料工業品」、「日用品」、「その他 (宅配便・百貨店配送品)」が全国的に減少したほか、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」が関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国で、「農水産品」が東北、関東、中国、九州で、「繊維工業品」が神奈川、関東、中部、近畿で減少している。

前年同月と比べると、不況に伴う工場・生産地からの貨物減等により、すべての品目で輸送量が減少している。地域的には、「金属製品」、「機械」が東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国で、「農水産品」が北海道、東北、九州で、「食料工業品」が関東地方、大阪、中国、福岡で、「日用品」、「その他 (宅配便・百貨店配送品)」が全国的に減少している。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因		
	著 増	増	変 らず	減 減					
前 月 に 比 べ て	農水産品		1	9	4	4	野菜、農産品、青果物	東北、関東、中国、九州	4
	金属製品		1	9	11		その他の金属製品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8
	機械			10	9	2	電気機械、機械部品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4
	化学工業品			7	15		合成樹脂、その他の化学工業品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8
	繊維工業品			13	9		糸、織物	神奈川、関東、中部、近畿	4, 7
	食料工業品			7	12	1	飲料、その他の食料工業品、加工食品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7, 8
	日用品			9	11	2	書籍・印刷物、文具、玩具、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、九州、全国	4, 5, 7, 8
	その他	1	1	6	10	4	宅配便、百貨店配送品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、全国	2, 4, 8
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品		2	10	6		野菜、農産品	北海道、東北、九州	4
	金属製品		1	11	6	2	その他の金属製品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 9
	機械	1	1	8	9	2	電気機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 9
	化学工業品		2	8	9	2	その他の化学工業品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 9
	繊維工業品		1	13	6	1	糸、織物	関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、近畿	4
	食料工業品		3	7	8	1	飲料、その他の食料工業品、加工食品	関東地方、大阪、中国、福岡	4, 7
	日用品		2	6	12	1	書籍・印刷物、衣服、身廻品、文具、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、九州、全国	4, 5, 9
	その他	1	1	6	11	2	宅配便、百貨店配送品	神奈川、関東、北陸信越、大阪、中国、全国	2, 4, 9

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 792 社／調査対象事業者数 1,087 社）の輸送量は、前月比 95.6%、前年同月比 93.2%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	95.6%	101.9%	93.0%	92.0%	96.9%	90.7%	95.0%	91.1%	96.4%	92.5%	109.5%
前年同月比	93.2%	96.8%	93.1%	95.5%	88.3%	87.3%	90.8%	89.0%	94.9%	98.0%	106.7%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	本月の輸送は、対前月比 101.9%、対前年同月比 96.8%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「その他の農産品」、「水産品」等の輸送量が増加したほか、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」等の輸送量が大幅に増加している。一方、建設関連の需要減等により「木材」、「セメント」等の輸送量が減少したほか、工場・生産地からの貨物減等により「動植物性飼・肥料」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。
東北	本月の輸送は、対前月比 93.0%、対前年同月比 93.1%であった。品目別には、景気回復の兆し等により「野菜・果物」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減等により「食料工業品」等の輸送量が減少したほか、不況の影響等により「金属製品」、「紙・パルプ」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。
関東	本月の輸送は、対前月比 92.0%、対前年同月比は 95.5%であった。品目別には、不況の影響等により「鉄鋼」、「動植物性飼・肥料」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
北陸信越	本月の輸送は、対前月比 96.9%、対前年同月比は 88.3%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「金属製品」、「その他の製造工業品」の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「穀物」、「機械」、「その他の石油製品」、「化学肥料」、「取り合せ品」の輸送量が増加している。一方、建設関連の需要減等により「セメント」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「その他の農産品」、「その他の化学工業品」、「食料工業品」の輸送量が減少し、不況の影響により「石炭」、「鉄鋼」、「その他の窯業品」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
中部	本月の輸送は、対前月比 90.7%、対前年同月比は 87.3%であった。品目別には、季節的需要増により「その他の農産品」の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減等により「金属製品」、「機械」、「セメント」の輸送量が減少したほか、季節的需要減により「野菜・果物」、「砂利・砂・石材」、「紙・パルプ」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。
近畿	本月の輸送は、対前月比 95.0%、対前年同月比は 90.8%であった。品目別には、季節的需要増により「食料工業品」の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増により「野菜・果物」、「その他の製造工業品」の輸送量が増加している。一方、季節的需要減等により「非鉄金属」、「金属製品」、「日用品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。
中国	本月の輸送は、対前月比 91.1%、対前年同月比は 89.0%であった。品目別には、季節的需要増等により「食料工業品」等の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減等により「機械」、「その他の製造工業品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。
四国	本月の輸送は、対前月比 96.4%、対前年同月比は 94.9%であった。品目別には、建設関連の需要増により「廃棄物」の輸送量が増加したほか、季節的需要増により「穀物」、「野菜・果物」、「輸送用容器」の輸送量が増加している。一方、天候の影響等により「食料工業品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
九州	本月の輸送は、対前月比 92.5%、対前年同月比は 98.0%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「セメント」等の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「穀物」等の輸送量が増加している。一方、不況の影響等により「食料工業品」、「その他の製造工業品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
沖縄	本月の輸送は、対前月比 109.5%、対前年同月比は 106.7%であった。品目別には、季節的需要増により「食料工業品」の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「金属製品」、「取り合せ品」の輸送量が減少したほか、不況の影響により「その他の化学工業品」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品 目		運 輸 局										
		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
1. 穀 物	増	2	2		1			1	2		8	
	減	1	1						1		3	
2. 野 菜 ・ 果 物	増	5	3	2	1		1	3	1	1	17	
	減		1			1		2		5	9	
3. そ の 他 の 農 産 品	増	3	1			1					5	
	減	1			1					2	4	
4. 畜 産 品	増	2									2	
	減								1		1	
5. 水 産 品	増	3							1		4	
	減											
6. 木 材	増							1		1	2	
	減	5	1		2			1			9	
7. 薪 炭	増											
	減											
8. 石 炭	増	1	1								2	
	減	2			1						3	
9. 金 属 鉱 物	増				1						1	
	減		1					1			2	
10. 砂 利 ・ 砂 ・ 石 材	増	10						3		2	15	
	減	4	2		2	2		1		1	12	
11. 工 業 用 非 金 属 鉱 物	増	1	1			1	1	1		2	7	
	減	1	2			1					4	
12. 鉄 鋼	増	1			1	1	1			1	5	
	減	1		1	1		2	3	1		9	
13. 非 鉄 金 属	増	1									1	
	減				1		1				2	
14. 金 属 製 品	増		1		1	1		1			4	
	減	1	3			2	3		1	2	13	
15. 機 械	増		1		2	2			1		6	
	減	1	1	2	2	5	3	5		5	25	
16. セ メ ン ト	増	4	1			1				3	9	
	減	4	2		2	2		1		3	14	
17. そ の 他 の 窯 業 品	増							1			1	
	減	1	1		1			1			4	

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
	18. 揮発油	増		2		1						
	減	1								1		2
19. その他の石油製品	増	3		1	2			1		1		8
	減			1	1			2	1	1		6
20. コークス・ その他の石炭製品	増	1										1
	減											
21. 化学薬品	増											
	減				1			1				2
22. 化学肥料	増				1					1		2
	減				1			1	1	1		4
23. その他の化学工業品	増		1									1
	減				1			2			1	4
24. 紙・パルプ	増	2	1				1	1		2		7
	減		2			1	1	1	1	4		10
25. 繊維工業品	増							1		1		2
	減								1			1
26. 食料工業品	増	2	1				2	3		2	2	12
	減	1	5		3		2	5	3	7		26
27. 日用品	増			2			1	2	1	1		7
	減	4	2				1	4		4	1	16
28. その他の製造工業品	増			2	2		1			1		6
	減							5		4		9
29. 金属くず	増										1	1
	減									1		1
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	2						1		2		5
	減	3	1	1								5
32. 廃棄物	増	2					1	1	1	1		6
	減		1									1
33. 輸送用容器	増	1			1				1	1		4
	減				1			1				2
34. 取り合せ品	増	1	1		1			1				4
	減	2	3			1		5			1	12
35. その他	増		2	1		3	1			1		8
	減		1	8	1	2	3	5		1		21